

表示器“GOT”との連携による“ネットワークカメラインタフェースユニット”の実現

要 旨

2014年に世間の注目を集めた食の安全性を皮切りに、工場へのネットワークカメラの導入が進められた。ところが、FAシステムと映像監視システムは独立したシステムで構成されることが多く、映像の活用が難しいとの市場課題があった。そこで、これらの橋渡しをするため、三菱電機エンジニアリングはネットワークカメラ業界の標準規格であるONVIF(Open Network Video Interface Forum)^(注1)に対応した“CC-Link IEフィールド／ONVIFゲートウェイユニット”の販売を2016年度に開始した。しかし、VMS(Video Management System)を使用した映像監視システムの構築を前提にしていたため、運用・構築にはネットワークカメラ業界の専門的な知識が必要であり、FAサイドからの導入は敷居が高かった。

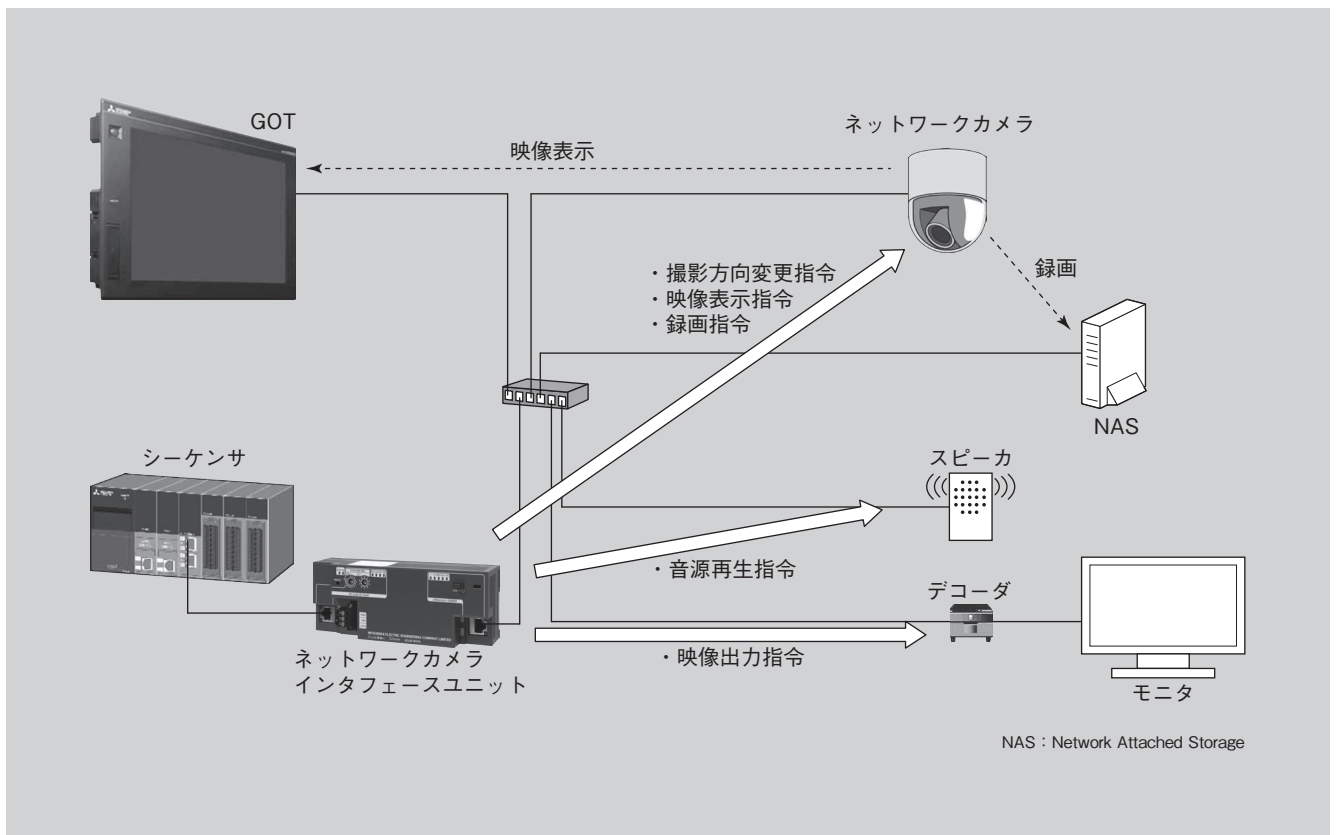
そこで、ネットワークカメラの基本機能(撮影、表示、

記録)を一般的なFA機器と同様の感覚で制御できる機能を追加開発し、ネットワークカメラ対応ユニットであることを明示するために“ネットワークカメラインタフェースユニット”と改称した。表示器には市場要望の高かった“GOT(Graphic Operation Terminal)^(注2)”を採用し、GOTとネットワークカメラを連携させた映像監視・記録を実現可能にした。

また、今回の機能追加では、制御対象をネットワークカメラに限定せず、例えばデコーダからの映像出力やスピーカへの音源再生等、他のネットワーク機器を制御することも可能にしている。

(注1) ONVIFは、ONVIF, Inc.の登録商標である。IP(Internet Protocol)ネットワーク上のネットワークカメラ、モニタ、録画装置間の通信を標準化した通信方式。

(注2) GOTは、三菱電機株の登録商標である。モニタ上でランプ等の表示やスイッチの操作が可能なタッチパネル付きの表示器。



ネットワークカメラインタフェースユニットのシステム構成

今回追加した機能によって、VMSを使用せずに、工場の現場にあるGOTとネットワークカメラを連携したカメラの映像監視・記録が容易に実現可能になる。